

考えてみよう

「平和」って何だろう？

知る・考える・忘れない 戦争の悲惨さ、平和の大切さ

知ること、考えること、忘れないこと、祈ること。

一人ひとりが平和のために、一歩踏み出すことが大切です。

平和に関する展示、式典をご案内します。一緒に平和について考えてみませんか？

「原爆に関する写真と 平和祈念の折り鶴」展

戦争や原爆の恐ろしさを伝える写真や資料、
そして、市民のみなさまからご提供いただいた千羽鶴を展示します。

開催日 8月3日（金）～8月16日（木）

会場 生涯学習センター

アビスタ 1階ストリート

※みなさんからの折り鶴も募集しています。

（詳しくは社会福祉課までお問合せください。）

被爆73周年 平和祈念式典

戦争で被爆した方の言葉を直接聞ける機会
は、なかなかありません。

「平和」を一緒に祈り、献花しませんか？

開催日 8月11日（土）9：30～10：30

会場 手賀沼公園内「平和の記念碑」前

内容：広島派遣中学生の報告、黙祷、献花 等

※途中退出入できます。服装は自由です。

知っていますか？ ～平和のシンボルについて～



『禎子鶴』

アビスタに展示されています。
広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが折った折り鶴です。

図書館で
読んでみよう！

『平和の記念碑』

手賀沼公園内にあります。

広島市から原爆で被爆した

旧市庁舎の側壁と敷石を譲り

受け、建立したものです。



せかいいちうつくしいぼくの村

小林豊／作・絵
ポプラ社



禎子の千羽鶴

佐々木雅弘／著
くまおり 純／装画・
本文イラスト
学研パブリッシング

かつて、ここには子どもたちの笑顔があった。
かつて、ここには子どもたちの夢があった。

ある日、それは
一瞬にしてなくなった。

いしづみ

321人の少年たちが残した最後の言葉—
それは未来を生きるみんなへのメッセージ

出演

綾瀬はるか

監督

是枝裕和



(C) 広島テレビ

映画監督・是枝裕和×女優・綾瀬はるかによる新しい朗読劇 失われゆく戦争の記憶が語り継がれる。

昭和44年(1969年)、広島テレビで放送された「碑」(いしづみ)。名女優・杉村春子さんを語り部として制作されたこの作品は、多くの人々の心を震わせ、芸術祭優秀賞やギャラクシー賞などを受賞しました。戦後70年を機に、この不朽の名作が現代によりみがえりました。

監督は、『万引き家族』で第71回カンヌ国際映画祭 最高賞 パルムドール受賞の是枝裕和さん。語り部は、広島市出身の女優で、上橋菜穂子さん原作「精霊の守り人(NHK)」でのバルサ役が記憶に新しい綾瀬はるかさんが演じています。

(2016年劇場公開作品)

平和祈念映画上映会

日時：平成30年8月11日(土) 平和祈念式典終了後
(10時40分頃開場／11時上映開始 上映時間85分)

※平和祈念式典は9時30分から手賀沼公園内「平和の記念碑」前にて開式※

場所：アビスタホール 定員100名(先着順) 無料

主催：我孫子市平和事業推進市民会議・我孫子市(問：企画課7185-1426)